

Q23

## 地域の子育て支援センターの 主な機能とは？

まずは  
ここから



- 学校にはできにくい“家庭への支援”が可能になります。
- 医療・保健・福祉機関等とのパイプ役になってくれます。

ある地域の子育て支援センターの主な役割を紹介します。

### 子育て相談の実施

センター職員が電話や面接による子育て相談をしています。対象の子どもについて、個別のカルテを作成し、満18歳になるまで継続的な支援をしていきます。

### 家庭支援（訪問）の実施

子どもが学校に行きたがらなくなった時や欠席が長期化している場合は、センター職員が家庭を訪問します。今、どんな支援が必要なのかを考えるために、子どもや保護者から事情を聴き、学校や教育委員会と常に連絡を取って、必要ならば児童相談所や専門職とも連携して、子どもへの対応の仕方を共に考えてくれます。

### サポート機関との連携

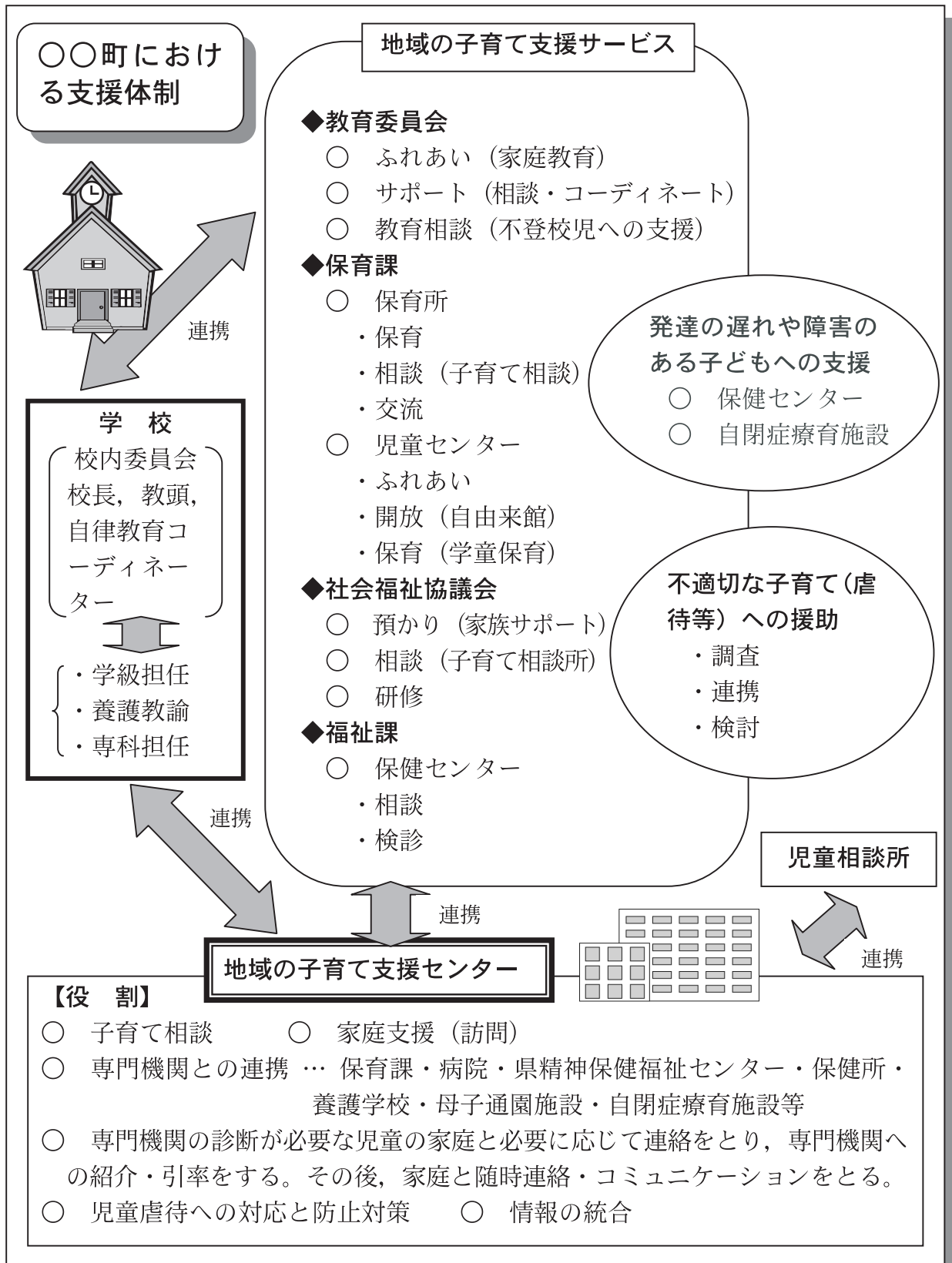
家庭環境の改善が必要になっても、担任が家庭内の問題に深く踏み込めない時もあります。そんな時は、センターが家の清掃や料理等を手助けしてくれるボランティアを派遣し、家事の支援をしてくれます。

また、子どもの今後について、センターのコーディネートで、関係機関、専門家、学校教職員等が一堂に会して、連絡協議会が何度かもたれ、具体的な方策が検討されます。児童相談所での相談の結果、専門機関での受診が必要だと判断されると、その手続きや付き添いもしてくれます。

### 専門機関等への紹介や引率

校内委員会で、専門医による医学的診断を受けることが必要だと判断した場合でも、家庭の事情によっては、保護者が医療機関へ連れて行けないことがあります。そんな時、センター職員が保護者にその旨をわかりやすく説明するとともに、保護者に代わって受診の手続き等の連絡・調整を行い、病院までの送迎や保護者と子どもに付き添いをしてくれます。

検査結果を聴く時も、保護者に不安があれば一緒に出向きます。保護者の了承の下、医師からの詳しい診断結果や今後の対応について、学校へも連絡してくれます。



**【キーポイント】** 家庭への支援は学校だけではうまくいきません。行政や福祉と連携し家庭への支援を行うことが効果的です。子育て支援センターの機能が充実していない市町村もありますが、今後増えていくことでしょう。